
嘘

斎藤佑祐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

嘘

【Zマーク】

Z8818Z

【作者名】

斎藤佑祐

【あらすじ】

これから嘘をつくから……

これから嘘をつくから

あなたは耳を塞いで私の声を聞かないで

これから嘘をつくから

あなたはあっちを向いて私の方を見ないで お願い

“運命”って言葉にすがつてた

ここに居ること居ないこと

悲しいことも傷つくことも

自分の所為じやないんだって思いたかったから

街の中 アスファルトの上

人の列が綿々と連なる

みんなナイフで切ったような細い眼の下に感情を隠してゐる

その中で私は疲れて擦り減つた

だから私は世界を騙す

これから嘘をつくから

あなたは耳を塞いで私の声を聞かないで

これから嘘をつくから

あなたはあっちを向いて私の方を見ないで お願い

失くしたものは全部覚えてる

忘れたら自分ではなくなる気がして

ここに居る意味がなくなる気がして

今日もノートを読み返す

電車の中 ポンクリーの上

人の群れが転々と歩く

聴こえてくるは沈黙と喧騒と規則正しい息遣い

その中で私は傷ついてばかり

だから私は自分を騙すことにした

これから嘘をつくから

あなたは耳を塞いで私の声を聞かないで

これから嘘をつくから

あなたはあっちを向いて私の方を見ないで お願い

ついた溜め息は私の頭上で雲になつて雨を降らした
涙を流してるつもりはないけど

あなたが心配そうな顔をしてるから

きっと上手く笑えてないんだね

これから嘘をつくけど

あなただけは私を見てて

これから嘘をつくけど

あなただけはこっちを向いて私の傍に居て お願い

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8818z/>

嘘

2011年12月27日20時54分発行